

2017 文部科学大臣杯 JAPANKART CUP with HDX

開催コース/筑波サーキット (茨城県)
主催/日本スーパーカート協会
開催日/6月4日
天候/晴れ 路面状況/ドライ
Report&Photo/月刊JAPANKART



◀ HDX OPEN クラスに参戦する佐藤那未が開幕戦に続いて総合優勝。今回はくじ運が悪く、後方グリッドになってしまったが、そんなハンデも押しつけての二連勝



▲ スポーツカートクラスのSK Enryoには日産横浜自動車大学校がエントリー。残念ながら途中リタイヤとなるが奇しくも日産の語呂通りの23周目の出来事だった



▲ YZ85に初エントリーしたteam Garage.gの平井勇太。地元が神戸ということで7時間をかけて筑波まで遠征した

▼ 総合3位はWR250クラスのADVANてるてるレーシング。JKカップの常連チームだ



▲ YZ125クラス優勝、総合2位に輝いたエフエガーラ58RSR。ペテランドライバーで構成されるチーム



様々なマシンを用いて、四輪サーキットを舞台にレースを楽しめるジャパンカートカップ。第2戦には6クラス、16チームのエントリー(うち1チームは未出走)を数えた。

梅雨入り前の6月最初の日曜日。澄み渡る青空に恵まれた最高のコンディションでレースはスタートする。

序盤は各クラスのマシンが入り乱れる混戦となったが、やがてはクラス毎にきれいに分かれていく展開へ。

注目の開幕戦ウィナー佐藤那未は「グリッドが後ろになってしまい、スタートも失敗したので最初はダメかなあと感じていました」と後に語るが、それでも諦めずに周回を重ねていく。

レース中盤、佐藤の諦めない気持が功を奏し、総合トップに立つとレースを完全にコントロール。終わってみれば唯一の54周を走破し、さらに終盤、1分2秒596というファステストラップまで叩き出す素晴らしい走り、開幕戦に続く2回目の勝利を手にした。